



平成24年3月22日
宮城県農林水産部農産園芸環境課
公益財団法人ヤマト福祉財団

宮城県農業生産復旧緊急対策事業（ヤマト福祉財団助成成分）の交付先が決定 ― 県内の農協・農業法人・農業者組織等、89の事業主体に13億2千万円を助成 ―

宮城県は、東日本大震災による甚大な被害を受けた農業において、いち早く営農再開を目指す意欲ある先導的な農業経営者を支援するため、公益財団法人ヤマト福祉財団（本部：東京都中央区、理事長：有富 慶二、以下「ヤマト福祉財団」）「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」の助成を受け、農協、農業法人、農業生産組織等、計89の事業主体が行う158件の取組みに対して、13億2千万円を助成する事を決定しました。

このたびの震災では、多くの農業施設、農業機械等が被災し、特に津波被害からの営農再開に向けては一から生産基盤を構築しなければならないことが課題となっています。

このため、国では平成23年度一次補正予算において「東日本大震災農業生産対策交付金」を創設し、共同利用施設の復旧・整備や、個別農業者も対象に含めた機械リースや資機材の導入等、幅広く支援することが可能となりました。しかしながら、国交付金の交付率は1/2が上限となっていることから、大きな被害から営農再開を図る農業者にとっては、事業に取り組む上で、残る1/2の投資が大きな負担となっています。

このような中、ヤマト福祉財団の助成に基づく「宮城県農業生産復旧緊急対策事業」では、国交付金と併せて、農業者の負担を半減できるため、いち早い営農再開を目指す農業者等の期待は非常に大きなものとなっております。

農業者の強い意欲とたゆまぬ努力、関係機関の協力、各方面からの支援と段階的な助成により、一部で施設や機械の導入が進み、既に、いちごや花き類の生産も再開し始めており、営農再開に向けた取組みが着実にスタートしていますが、この度、総額13億2千万円の助成先が全て決定しましたのでお知らせいたします。

宮城県としては、「見える支援・速い支援・効果の高い支援」を目指すヤマト福祉財団「東日本大震災生活・産業基盤復興再生募金」と共に、早期の営農再開を支援してまいります。

【宮城県農業生産復旧緊急対策事業（ヤマト福祉財団助成金事業）概要】

- ・ 内容：農業者の組織等による共同利用施設の復旧・整備、農業機械や資機材の導入に関して、農業者の負担軽減を図るため、東日本大震災農業生産対策交付金（国交付金：補助率1/2以内）と併せて経費の一部を助成する。
- ・ 補助率：対象事業費の1/4以内（上限1億円）

【本件に対するお問い合わせ先】

宮城県農林水産部農産園芸環境課 担当：齋藤・酒井（022-211-2844）
公益財団法人ヤマト福祉財団 担当：早川・渡辺（03-3248-0691）

1. 助成先一覧

事業実施主体名		
(株)ヒルズ(大河原町)	藤田グリーンファーム(仙台市)	(有)耕佑(栗原市)
北境水田農業生産組合(蔵王町)	(農)仙台イーストカントリー(仙台市)	リッチフィールド栗原有限会社(栗原市)
(有)蔵王グリーンファーム(白石市)	(農)新浜協業組合(仙台市)	栗っこ農業協同組合(栗原市)
(有)やさい工房八巻(岩沼市)	(農)西多賀三和ファーム(仙台市)	(農)高清水養豚組合(栗原市)
(農)岩沼園芸組合(岩沼市)	(農)ゆいファーム(仙台市)	JAみどりのバラ部会(美里町)
玉浦中部地区生産組合(岩沼市)	(農)三和ファーム(仙台市)	エスエフあかい(美里町)
小川生産組合(岩沼市)	浜田水稲生産組合(仙台市)	ネオファーム南郷(美里町)
山崎生産組合(大郷町)	多賀城市施設園芸組合(多賀城市)	(有)燦ドリームなんごう(美里町)
(株)グリーン菜園(仙台市)	(株)さんいちファーム(名取市)	中屋敷イチゴ生産組合(美里町)
(有)六郷アズーリファーム(仙台市)	(有)耕谷アグリサービス(名取市)	(株)いちごランド石巻(石巻市)
イーストアグリ六郷(仙台市)	(株)美田園ファーム(名取市)	(農)舟形アグリ(石巻市)
いぐねファーム長喜城(仙台市)	北釜耕人会(名取市)	いしのまき農業協同組合(石巻市, 東松島市)
グリーン機械利用組合(仙台市)	北目転作組合(名取市)	宮城フラワーステーション(石巻市)
ファーム・TOMO(仙台市)	名取グリーンファーマーズ出荷組合(名取市)	石巻地区園芸生産組織連絡協議会(石巻市)
岡田生産組合(仙台市)	名取市花卉生産組合(名取市)	(農)ゆいっこ(石巻市)
下荒井カントリー(仙台市)	磯崎生産組合(松島町)	本町ライスセンター組合(石巻市)
下飯田水稲協業組合(仙台市)	(有)サンフレッシュ松島(松島町)	(有)サントマト石巻(石巻市)
(株)佐々木宮農サービス(仙台市)	山元いちご農園(株)(山元町) ※	(株)カレントセラ(登米市)
及川洋蘭園(仙台市)	山元町アグリカルチャー(山元町)	(有)かわつらグリーンサービス(登米市)
高砂生産組合(仙台市)	みやぎ亘理農業協同組合(亘理町) ※	(有)中田サンファーム(登米市)
今泉希望生産組合(仙台市)	亘理いちご吉田地区生産組合(亘理町)	(株)サンエイト(東松島市)
笹屋敷水稲施設協同利用組合(仙台市)	(有)佐々木農園(大崎市)	(有)アグリードなるせ(東松島市)
三本塚利用組合(仙台市)	JA古川園芸振興会いちご部会復興組合(大崎市)	ネバーギブアップ復興組合(東松島市)
山王稲作機械共同利用組合(仙台市)	アグリ・プロダクションMHK(大崎市)	やもと園芸生産組織連絡協議会(東松島市)
七郷ハーベスト(仙台市)	下中目一水稲栽培組合(大崎市)	牛網ハウス組合(東松島市)
十呂盤利用組合(仙台市)	諏訪峠水稲生産組合(大崎市)	小野楽農生産組合(東松島市)
上飯田第一機械利用組合(仙台市)	田尻町きのこ栽培組合(大崎市)	中下ハウス組合(東松島市)
仙台農業協同組合(仙台市)	(農)かりおん農場生産組合(大崎市)	南三陸農業協同組合(気仙沼市, 南三陸町)
大沼農産組合(仙台市)	(農)沼木頼歩(大崎市)	宮城県鉢物生産組合(県広域)
(農)仙台中央アグリサービス(仙台市)	(株)ベジドリーム栗原(栗原市)	

*次ページにコメントを掲載

2. 助成総額 13億2千万円(上記89の事業体の計158件の取組みに助成)

3. 各助成先の取組内容及び整備機器類等

共同利用施設の整備や復旧(乾燥調製施設、農産物処理加工施設、園芸用ハウス、畜舎等及びその付帯施設・設備)、農業用機械の導入やリース(トラクター、田植機、直播機、コンバイン、大豆コンバイン、汎用型コンバイン、大豆播種機、枝豆ハーベスタ、ブームスプレーヤ、乗用管理機、自走式肥料散布機、ロールベアラ、ラッピングマシ-ン、無人ヘリコプター、乾燥機等)、農業用機械導入に伴う格納庫の整備、農業機械の修繕(トラクター、コンバイン等)、生産資機材の導入(種苗、パイプハウス用資材、園芸用ハウス補修資材、播種・土入れ装置、催芽機、栽培資・機材、被覆資材、暖房機、収穫機、洗浄機、包装機、選果機、管理機、予冷库、動力噴霧器等)等

助成事業者のコメント

・生産者4人でいちごを作る株式会社を立ち上げました。2年も3年も待っていただけなかったからです。転業してゼロから新しいことを始めるより、この町で30年やってきたいちご作りを会社という形で続けられれば、技術をつないでいくこともできます。3月1日オープンの新しいハウスで真っ赤ないちごを収穫しました。1年前、津波で何もかも持って行かれてしまったものが、戻ってきました。諦めないで良かった。助成を受けて、また一步進んでいくことができます。ありがとうございました。

(山元いちご農園株式会社)



・阿武隈川沿いの遊休未利用地を JA みやぎ亙理が中心となって開墾し、小山いちご生産団地を建設しました(施設面積240a)。津波でいちご畑が流されたいちご農家のうち、亙理町から4戸、山元町から4戸、計8戸がパイプハウスを借り受け、生産を始めました。「毎日がれきを片付けながらも、小さなプランターでもいいからいちごを作りたい。やるからにはクリスマスに出荷したい思いで何とか収穫できました。ヤマト福祉財団様はもちろんボランティアの方々や多くの方々のご協力でここまで来れました。」と小山いちご生産団地組合長の浅川一雄さんがお話してくださいました。

(みやぎ亙理農業協同組合)



※ 公益財団法人ヤマト福祉財団「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」は、東日本大震災で被災された地域の生活基盤の復興や水産業・農業の再生を支援することを目的に創設されました。140億円以上が見込まれるヤマトグループの「宅急便1個につき10円の寄付」をはじめ、広く一般からも募金を募り、単なる資金提供だけでなく、新しい復興モデルを育てるために役立てていくことを目指しています。既に24件の事業に対して、105億円以上の助成を行っています。詳細につきましては、ヤマト福祉財団のホームページ(<http://www.yamato-fukushi.jp/>)をご参照ください。